

公益財団法人 京都市文化観光資源保護財団

平成 23 年度 事業報告

概況

平成 23 年 4 月 1 日付をもって公益財団法人に移行したことから平成 23 年度は、新法人として最初の事業年度であった。

本年度は、事業活動においては、公益目的事業の文化観光資源の保護事業、管理事業、普及啓発事業の 3 事業は、事業計画どおりの諸事業を実施すると共に、各事業内容の再点検と更なる充実につとめた。

具体的には、文化観光資源保護事業の助成事業では、本年度の募集要項にもとづき応募を行い、申請のあったすべての保護事業を助成対象とし前年度と同規模の助成額を維持して、保護事業者の財政負担の軽減につとめることが出来た。また、調査研究事業は、助成申請のあった保護事業の実態調査及び京都市域の文化観光資源の記録収集を行った。

文化観光資源管理事業では、従来どおり各管理史跡等について、維持管理と定期的な整備を行い、適正な保存・保護に取り組んだ。

普及啓発事業では、年初の事業計画どおりの事業を実施し、併せて情報発信を積極的に行い、事業活動の啓発や京都の文化観光資源の普及につとめた。

また、会員事業においては、機関誌「会報」をはじめ事業内容の充実に取り組むと共に、新たな会員制度の周知と更なる支援、協力をよびかけ併せて会員数の増強につとめた。

法人運営においては、公益財団法人として公益法人制度関係法並びに新定款に則った適正な運営につとめた。募金活動では、新法人への移行に伴い円滑な寄附受納とデータシステムを新たに構築した。また、新たな寄附金の税制措置等公益法人の税制改正に対処した取り組みを検討した。

個別事業の詳細は、以下のとおり。

I. 文化観光資源保護事業（公益目的事業 1）

1 助成事業

（1）対象事業

平成 23 年度に実施される以下の保護事業で、当財団が定める「文化観光資源保護事業助成金交付対象選定基準」に該当した事業。

1) 文化財所有者、管理者等の行う文化観光資源保護事業に対する助成

文化財の所有者、管理者等が行う文化財や観光資源である建造物・美術工芸

品及び庭園，史跡・天然記念物の保全を行う各事業。

2) 伝統行事，伝統芸能の保存及び執行に対する助成

伝統行事，伝統芸能を保存伝承する保存団体が記録作成，後継者の養成，衣装・用具，収蔵・施設の修理新調を行う各保護事業並びに執行・公開を行う各事業。

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

寺院・神社等の環境保全，文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備を行う自然環境の各事業。

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

文化財所有者や管理者等が行う文化財や観光資源を災害から守るための防災施設の設置・改修，収蔵施設等の設置・整備を行う文化観光資源を保護するための各事業。

(2) 申請の応募，受付

ホームページ等で申請の応募を行い，事前相談（平成23年4月1日～5月31日）及び申請書の受付（6月30日提出期限）を行った。

(3) 文化財専門委員会の開催，助成対象の選定

- ・日時 平成23年11月8日
- ・出席者 武田恒夫委員，西川幸治委員，森谷尅久委員，尼崎博正委員，小椋純一委員 以上5名
- ・決議事項 専門委員会委員長及び同副委員長の選任
平成23年度文化観光資源保護事業助成対象の選定
平成23年度文化観光資源管理事業状況の報告

(4) 助成金の交付決定，事業報告

文化財専門委員会において，選定された53件について，平成23年11月8日付で，申請者に対し助成金交付内定通知を送付し，第4回理事会（平成24年2月27日開催）において，下記の助成金の交付を決定した。また，申請者から保護事業報告書の提出（3月16日期限）を求めた。

1) 文化財所有者，管理者の行う文化観光資源保護事業に対する助成

	8件	助成金	546万円
・建造物の部	3件	助成金	210万円
・美術工芸品の部	5件	助成金	336万円

2) 伝統行事，伝統芸能の保存及び執行に対する助成

	43件	助成金	5,417万円
・伝統行事，伝統芸能の保存に対する助成	2件	助成金	692万円

・伝統行事，伝統芸能の執行・公開に対する助成

41件 助成金 4,725万円

・伝統行事 18件 助成金 4,383万円

・伝統芸能 23件 // 342万円

3) 文化観光資源をとりまく自然環境の保全及びその整備に対する助成

1件 助成金 318万円

4) 文化観光資源施設の整備に対する助成

1件 助成金 70万円

助成対象事業及び助成金内訳

1. 文化光資源保護事業に対する助成

(1) 建造物の部

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
観音寺	大玄関修理工事	600	70	70
神泉苑	鐘楼屋根修理工事	562	70	70
建仁寺	三門修理工事	5,100	70	70
計	3件	6,262	210	210

(2) 美術工芸品の部

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
長得院	本堂障壁画紙本墨画「鷺図」・「山水図」・「虎図」・「商山四皓図」修理	498	70	70
(公財)冷泉家時雨亭 文庫	紙本金地着色「楼閣山水図」貼交襖絵，紙本淡彩貼交襖絵修理	355	70	56
真正極楽寺	紙本金地着色「花車図」六曲一双屏風左隻修理	441	70	70
禅林寺	紙本着色「和漢朗詠色紙貼交」六曲一双屏風修理	374	70	70
泉涌寺	木造釈迦如来坐像修理	954	70	70
計	5件	2,622	350	336

2. 伝統行事，伝統芸能の保存及び執行に対する助成

(1) 伝統行事，伝統芸能保存事業に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
(財)祇園祭山鉾連 合会	山鉾(10件)保存修理	1, 211	355	312
内訳 鯉山	辻提灯建て(2対)新調, 山上の籠覆 新調	167	—	—
船鉾	車方カブラデコ(2個)・カケヤ(1個) 新調, 鉾上人形台修理, 雨覆障子 16点新調, 高欄下木部(1本)修理	90	—	—
菊水鉾	囃子鉦 8個新調	210	—	—
長刀鉾	稚児衣装新調(社参用), 稚児翔鼓・ 蝶蜻蛉新調, 胴掛飾り金具修理	339	—	—
函谷鉾	鉾建用大デコ(1本)新調, 曳綱(1対) 新調	62	—	—
役行者山	辻提灯建て(六角辻・一対)新調	98	—	—
北観音山	山胴組み床下 4本柱固定板(4枚) 新調	39	—	—
鶏鉾	天井幕・真木巻, 禿柱巻の幕新調	48	—	—
八幡山	鳩修理	70	—	—
山伏山	収蔵庫・会所防災施設設置	88	—	—
京都五山送り火連 合会	各山火床等施設整備	2, 011	380	380
内訳 大文字	火床周辺雑草刈, 排水施設改修, 落下防止柵・フェンス取付	414	—	—
松ヶ崎妙法	山雑木総刈, 火床塗装, 山道補修, 防火水槽ドラム缶取替, 遮蔽木伐 採, フェンス改修, 火床解体・取 替	791	—	—
船形万燈籠	通路・火床土砂搬出, 山雑木総刈, 搬入路修復	375	—	—
左大文字	火床修理, 安全防火水槽ドラム缶 取替, 柵取替, 遮蔽木伐採, 下草 刈, 山道段差修理, 枯木伐採, 排 水路新設	341	—	—
鳥居形松明	親火床拡張, 土砂止め	90	—	—
計	2件	3, 222	735	692

(2) 伝統行事、伝統芸能の執行・公開に対する助成

○伝統行事

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
葵祭行列協賛会	葵祭行列の執行	2,840	675	675
祇園祭協賛会	祇園祭山鉦巡行の執行	8,508	2,000	2,000
京都五山送り火協賛会	京都五山送り火の執行	2,390	650	650
時代祭協賛会	時代祭行列の執行	2,090	623	623
嵯峨お松明保存会	嵯峨お松明の執行	300	20	20
賀茂競馬保存会	賀茂競馬の執行	719	26	25
藤森神社駈馬保存会	藤森駈馬の執行	355	26	25
糺の森流鏑馬神事等保存会	糺の森流鏑馬の執行	602	30	25
鞍馬山竹伐り会式保存会	鞍馬山竹伐り会の執行	147	13	13
花脊松上げ保存会	花脊松上げの執行	185	26	25
広河原松上げ保存会	広河原松上げの執行	305	26	25
雲ヶ畑松上げ保存会	雲ヶ畑松上げの執行	70	20	20
烏相撲保存会重陽社	烏相撲の執行	56	13	10
西之京瑞饋神輿保存会	瑞饋祭の執行	415	26	25
北白川伝統文化保存会	北白川高盛御供の執行	38	12	6
日野裸踊保存会	日野裸踊の執行	36	6	6
鞍馬火祭保存会	鞍馬火祭の執行	1,296	200	200
桂川舟渡し保存会	松尾祭桂川舟渡御の執行	57	13	10
計	18件	20,409	4,405	4,383

○伝統芸能の部

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
蹴鞠保存会	蹴鞠の公開	269	20	20
平安雅楽会	雅楽の公開	80	20	15
壬生大念仏講	壬生狂言の公開	447	20	15

神泉苑大念仏狂言講社	神泉苑狂言の公開	85	20	15
千本えんま堂大念仏狂言保存会	千本えんま堂狂言の公開	100	20	15
嵯峨大念仏狂言保存会	嵯峨狂言の公開	72	20	15
吉祥院六斎保存会	吉祥院六斎の公開	68	20	15
久世六斎保存会	久世六斎の公開	62	20	15
中堂寺六斎会	中堂寺六斎の公開	60	20	15
梅津六斎保存会	梅津六斎の公開	69	20	15
小山郷六斎念仏保存会	小山郷六斎の公開	80	20	15
千本六斎会	千本六斎の公開	65	20	15
嵯峨野六斎念仏保存会	嵯峨野六斎の公開	65	20	15
壬生六斎念仏講中	壬生六斎の公開	60	20	15
西方寺六斎念仏保存会	西方寺六斎の公開	48	13	10
川上やすらい踊保存会	川上やすらい花の公開	43	13	13
今宮やすらい会	今宮やすらい花の公開	130	13	13
玄武やすらい踊保存会	玄武やすらい花の公開	95	15	13
上賀茂やすらい踊保存会	上賀茂やすらい花の公開	80	13	13
久多花笠踊保存会	久多花笠踊の公開	94	26	25
八瀬郷土文化保存会	八瀬赦免地踊の公開	171	20	20
松ヶ崎題目踊保存会	松ヶ崎題目踊の公開	65	13	10
番匠保存会	上棟祭の公開	66	13	10
計	23件	2,374	419	342
合計	41件	22,783	4,824	4,725

3. 文化観光資源をとりまく自然環境の保全等に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
(公財)京都古文化保存協会	松喰虫駆除事業	956	320	318
計	1件	956	320	318

4. 文化観光資源施設の整備に対する助成

対 象

単位：万円

保護事業者	事業内容	事業費	申請額	助成額
知恩院	宝蔵修理工事	390	70	70
計	1件	390	70	70

単位：万円

合 計	53件	36,235	6,509	6,351
-----	-----	--------	-------	-------

2. 文化観光資源に関する調査研究並びに情報の収集及び提供

- (1) 本年度助成申請のあった文化観光資源保護事業等の実態調査及び記録撮影、資料収集を行い、調査報告書を作成し文化財専門委員会に文化観光資源保護事業選定資料として提出した。また、各修理状況の内容をデータ化して、記録保存し今後の保護・伝承のための資料として供していくこととした。
- (2) 京都市域の伝統行事・芸能の公開時の記録及び文化財指定を受けていない文化観光資源に関して、本年度は特に「京都の近代仏堂」について京都市文化財保護課担当技師と現地調査と写真記録を行い、今後の保存・保護を図るうえでの資料として活用していくこととした。
- (3) 文化財保護関係機関等との連絡協議

文化財保護関係機関で構成する文化財保護連絡協議会、文化財防災対策連絡会に参加し、京都の文化観光資源保護に関する情報の交換や収集等を行い実態把握につとめ、各機関と協調して事業の効果的な取り組みについて検討した。

また、葵祭、祇園祭、京都五山送り火、時代祭の四大家事の執行を協議する各協賛会等の会議に加わり行事の円滑な実施について協議検討した。

1) 文化財保護連絡協議会（今年度事務局 財団法人京都文化財団）

開催日：第1回 7月20日 第2回 11月29日

京都府教育庁指導部文化財保護課、同文化環境部文教課、京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課、同消防局予防部、公益財団法人京都古文化保存協会、財団法人京都文化財団、当財団の7者で構成し、情報交換等を行うと共に、「文化財保護の巡回よろず相談」を共同で実施し、相談者に対し当財団の助成事業についての案内・説明を行った。

実施日：10月4日 開催場所：ルビノ京都堀川

2) 文化財防災対策連絡会（今年度事務局 京都市消防局予防部文化財担当）

開催日：第1回 6月24日 第2回 9月15日 第3回 12月8日
第4回 3月23日

京都府教育庁指導部文化財保護課，同文化環境部文教課，同府民生活部消防安全課，同警察本部生活安全部生活安全企画課，同警備部警備第一課，京都市文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課，同都市計画局都市景観部景観政策課，同消防局予防部，公益財団法人京都古文化保存協会，財団法人京都文化財団，京都大阪森林管理事務所，当財団の12者で構成し，文化財の防災等に関する情報交換を行った。

3) 四大大行事（葵祭，祇園祭，京都五山送り火，時代祭）協賛会並びに総合打ち合わせ会議

四大大行事の円滑な行事の執行に向けて，各関係団体で構成する協賛会並びに総合打ち合わせ会議に加わり，協議検討を行った。

II. 文化観光資源管理事業（公益目的事業2）

〈管理対象〉

名勝 雙ヶ岡，史跡 天皇の杜古墳，史跡 醍醐寺境内（栢杜遺跡），天然記念物 深泥池生物群集，史跡 御土居（7カ所），史跡 方広寺石塔，史跡 鳥羽殿跡，史跡 栗栖野瓦窯跡，史跡 平安宮跡（内裏跡，豊楽院跡），史跡 檜原廢寺跡，史跡 蛇塚古墳，史跡 西寺跡，史跡 天塚古墳，史跡 山科本願寺南殿跡，京都市指定史跡 上中城址，京都市登録史跡 福西遺跡公園，京都市登録建造物 島原大門

以上 24 カ所

1. 文化観光資源の管理業務活動

24 カ所の管理史跡等について，2名の専従職員により日常の巡回を行い，現状の把握と各地元保存団体と見回り監視の委託契約を締結し，連携して適切な管理を行った。また，定期的な整備と危険樹木の伐採，除草，不法廃棄物の撤去等の作業を行い，適正な保存・保護に取り組んだ。本年度に行った主だった整備内容は，次のとおり。

対象	主な実施内容
名勝 雙ヶ岡	樹木整備（アラカシ生垣等刈込み 7～8月，自然災害による倒木処理 6月，枯損木伐採），除草等
史跡 天皇の杜古墳	樹木整備（ツツジ・サツキの刈込み 7月），除草等
史跡 醍醐寺境内（栢杜遺跡）	除草，街路灯修理等
天然記念物深泥池生	樹木管理（住宅隣接樹木の伐採剪定），除草等

物群集	
史跡 御土居 (7カ所)	樹木管理 (生垣刈込み 7月, ツツジ等低木類刈込み, 7~8月, 宅地隣接樹木の剪定), 除草等
史跡 方広寺石塔	樹木管理 (低木類の刈込み, 松剪定 7月), 除草等
史跡 鳥羽殿跡	除草等
史跡 栗栖野瓦窯跡	樹木管理 (宅地隣接樹木の伐採 6月, 自然災害による折損樹木処理 7月), 除草等
史跡 平安宮跡 (内裏跡, 豊楽院跡)	除草等
史跡 檜原廃寺跡	樹木管理 (低木類の刈込み 6月, 宅地隣接樹木の剪定 12月), 説明板屋根小修理, 除草等
史跡 蛇塚古墳	樹木管理 (刈込み・樹木剪定 7月), 除草等
史跡 西寺跡	清掃・刈草搬出等
京都市登録史跡 福西遺跡公園	樹木管理 (刈込み・剪定, 宅地隣接樹木の伐採 8月), 除草等
史跡 天塚古墳	除草等
史跡 山科本願寺南殿跡	除草等
京都市指定史跡 上中城址	除草等

2. 調査研究活動

日常の巡回や整備の実施前後において写真記録や資料収集を行い、各史跡等の現状と今後の維持保存のあり方を検討するうえでの記録資料とした。また、文化財専門委員会（平成23年11月8日開催）においてそれぞれの管理状況を報告し、今後の保存整備のための具体的方策について指導助言を受けた。

3. 普及啓発活動

「蛇塚古墳」「方広寺石塔」の内部見学についての見学希望者への便宜や整備前後の状況等をホームページ上で逐次情報発信し、各史跡等の普及啓発と維持保存のための協力と支援を広く呼びかけた。

Ⅲ. 文化観光資源保護普及啓発事業（公益目的事業3）

1. 刊行物の発行

(1) 文化財卓上カレンダーの作成

毎年、京都の文化財や観光資源を一般に広く紹介することを目的に“京の文化

財卓上カレンダー”を作成している。2012年版は、「京の名建築」をテーマに国宝・重要文化財建造物14点を取り上げ2,500部作成すると共に、京都の文化財の良さを広く周知するため一般の希望者にも実費頒布を行った。

- (2) 当財団発行の「近代京都の名建築」,「京都大文字五山送り火」を一般の希望者に頒布し、普及啓発につとめた。
- (3) 文化観光資源の公開事業の実施の際に公開対象文化財について、理解を深めていただくため冊子・解説書を作成し、見学者に配付した。

2. 文化観光資源公開事業の実施

京都の文化財や観光資源, 伝統行事・芸能の愛護思想の普及啓発につとめることを目的に普段は、非公開の文化財を鑑賞していただく「文化財特別公開事業」や京都に保存伝承されている民俗芸能を舞台上で一堂に紹介する「京の郷土芸能まつり」を実施した。また、事業を通じて当財団活動への協力, 支援を呼びかけた。

- (1) 京の文化財探訪 尼門跡寺院「靈鑑寺」春の文化財特別公開
実施期間 4月1日～10日 見学者数 7,960名
- (2) 京都市指定有形文化財「長江家住宅―祇園祭屏風飾り―」
実施期間 7月14日～16日 見学者数 1,238名
- (3) 京の文化財探訪 紅葉の庭園と文化財建造物の特別公開事業
「廣誠院」文化財特別公開 実施期間 11月19日～23日 見学者数 785名
「靈鑑寺」 " " 11月18日～27日 " 3,479名
- (4) 「第42回京の郷土芸能まつり 都の賑い―祭り・まつり―」

2月26日京都会館第2ホールにおいて「鎮魂と念仏」をテーマに開催し、757名の入場者を数えた。

〈出演〉「上高野念仏供養踊」(上高野念仏供養踊保存会), 「川上やすらい花」(川上やすらい踊保存会), 京都祇園祭「岩戸山祇園囃子」(岩戸山保存会), 「千本六斎念仏」(千本六斎保存会), 吉田神社節分祭「追儺式」(吉田神楽岡町追儺保存会), 特別出演 京都ゆかりのまち 宮城県大崎市「高倉薬太鼓」

3. ウェブサイトによる発信事業

ホームページにおいて、京都の文化観光資源や活動・事業の紹介、「会報」寄稿文等を掲載し、京都の文化観光資源とその保護や活動への理解と協力を広く呼びかけた。また、法人の情報公開を積極的に行った。これまでのアクセス状況は、530,417件である。

4. 伝統行事・伝統芸能功労者表彰事業

京都市域に保存伝承されている伝統行事・芸能の保存と継承に長年にわたり貢献されてきた功労者として、下記 15 名の方を伝統行事・芸能功労者表彰要綱に基づき 2 月 27 日に表彰式を実施し、京都市長、理事長名にて表彰した。

〈被表彰者（順不同・敬称略）〉山田 稔（嵯峨お松明保存会）、高橋 君夫（広河原松上げ保存会）、鎌部 和男（桂川舟渡し保存会）、木村 忠紀（番匠保存会）、前田 祐温（神泉苑大念仏狂言講社）、松岡 誠（千本えんま堂大念仏狂言保存会）、松井 嘉伸（嵯峨大念仏狂言保存会）、吹田哲二郎（千本六齋会）、北村 昌司（嵯峨野六齋念仏保存会）、山下伊久夫（西方寺六齋念仏保存会）、奥村喜四郎（川上やすらい踊保存会）、藤井 博志（上賀茂やすらい踊保存会）、廣田 良浩（北白川伝統文化保存会）、三宅 富子（修学院紅葉音頭保存会）、辻 ナカ（一乗寺郷土芸能保存会）

5. 文化観光資源に関する事業の後援

文化観光資源の保護と活用を目的とする下記の事業を後援・協力し、事業協力を行った。

(1) 「ふるさと文化財の森システム推進事業普及啓発事業」の後援

11 月 5 日・6 日 主催：公益社団法人全国社寺等屋根工事技術保存会
文化財の専門的技術の普及を目的に、文化財保護に関わる技術の実演・展示・体験が行われた。又、現地（清水寺・高台寺国有林（京都市東山区）にて、講演と檜皮採取の実演も行われた。

(2) 「第 27 回醍醐寺大菊花展」の協力 主催：醍醐寺

優秀作品に京都市文化観光資源保護財団賞の交付を行った。

表彰式：12 月 11 日

(3) 第 46 回「京の冬の旅」の後援

12 月 1 日～3 月 20 日 主催：社団法人京都市観光協会
京都の冬季の観光客誘致対策を目的に、非公開文化財の特別公開等が行われた。

(4) 年中行事「新始め」の後援

1 月 2 日 主催：番匠保存会

当財団の助成対象である京都市登録無形民俗文化財の木遣音頭を伝承する番匠保存会の年中行事として、京都市右京区広隆寺で行われた。

6. その他

(1) 報道機関による啓発活動の推進

各種報道機関に対し、当財団の実施事業をそのつど発表し、事業への参加協力

と活動への理解と支援を呼びかけた。

IV. 会員事業

1. 「会報」及び「平成 22 年度 活動報告」の発行

「会報」は、誌面を新たにして第 101, 102, 103 号の 3 号を各 2,000 部発行した。京都の文化財や観光資源に関する有識者の執筆原稿や事業活動等掲載し、すべての会員及び文化財保護関係機関、文化観光資源所有者・管理者、保存団体に送付した。また、平成 22 年度に実施した事業活動及び財務状況など詳しく掲載した「平成 22 年度活動報告」を 1,500 部発行し、すべての会員に送付した。

「会報」の主な掲載内容は、以下のとおり。

No. (発行月)	主な目次
No.101 (23.7.1 付)	伝統行事・芸能功労者に聞く「後継者に伝えたいこと。望むこと。」, 守り伝えよう京都の文化財 助成文化財紹介「千本えんま堂大念仏狂言－郷土芸能の後継者」, 知られざる京都の文化財「祇園祭保昌山前懸胴懸下絵」安井雅恵氏(京都市文化財保護課技師), ほか
No.102(23.11.1 付)	知られざる京都の文化財「賀茂季鷹の蔵書」安井雅恵氏(京都市文化財保護課技師), 「京都の文化財を守り伝えるための私達の活動」小澤一也氏(京都の文化財を守る会会長), 船越勝博氏(名勝雙ヶ岡保存会会長), 守り伝えよう京都の文化財 助成文化財紹介「十念寺書院襖絵」, ほか
No.103(24.3.1 付)	「京都の近代数寄屋」桐浴邦夫氏(京都建築専門学校教員・工学博士), 「京の近代仏堂－近世の継承と昇華」清水一徳氏(京都市文化財保護課技師), 守り伝えよう京都の文化財 助成文化財紹介「建仁寺三門」, ほか

2. 会員事業の実施及び文化観光資源保護普及啓発事業, 刊行物の案内

会員規程に定める会員を対象とした会員事業を以下のとおり実施, 案内した。

○京の三大祭観覧招待

葵 祭 (5 月 15 日)	京都御苑建礼門前	観覧者数	275 名
祇園祭 (7 月 17 日)	京都市役所前	〃	302 名
時代祭 (10 月 23 日・雨天順延)	京都御苑建礼門前	〃	235 名

○京の文化財探訪 尼門跡寺院「靈鑑寺」春の特別公開招待

- 実施期間 4月1日～10日 見学者数 99名
- 助成文化財特別鑑賞
- 「安楽寺」春の特別公開招待 実施期間 4月1日～10日 見学者数 210名
- 「壬生狂言」春の大念佛会招待 実施期間 4月21日～29日 見学者数 82名
- 京都古文化保存協会主催「京都春季非公開文化財特別拝観」招待
実施期間 4月21日～5月8日 見学者数 258名
- 京都市指定有形文化財「長江家住宅一祇園祭屏風飾り」招待
実施期間 7月14日～16日 見学者数 107名
- 「六角堂・頂法寺」と華道家元「池坊」を訪ねて
実施日 8月31日 参加者数 66名
- 初秋の「鞍馬寺」と「由岐神社」を訪ねて
実施日 10月18日 参加者数 47名
- オリジナルポストカード“京の三大祭”を申込希望者に抽選のうえ進呈
- 京都五山送り火記念「扇子」を申込希望者に抽選のうえ進呈
- 京の文化財探訪 紅葉の庭園と文化財建造物の特別公開招待
- ・「廣誠院」の文化財特別公開
実施期間 11月19日～23日 見学者数 117名
- ・「靈鑑寺」の文化財特別公開
実施期間 11月18日～27日 見学者数 82名
- 後援事業 京都市観光協会主催「京の冬の旅 非公開文化財特別公開」招待
実施期間 1月7日～2月29日 見学者延べ数 201名
- 「禅林寺（永観堂）」助成文化財特別鑑賞
実施日 1月28日 参加者数 118名
- 京都市新指定文化財特別鑑賞「妙光寺」を訪ねて
実施日 3月3日 参加者数 81名
- 「2012年版京の文化財卓上カレンダー」・「京都・文化財ダイアリー(2012年度版)オリジナル手帳」の配布
- 優待（割引）事業
- ・2012年版京の文化財卓上カレンダー「京の名建築」の割引頒布
 - ・第42回京の郷土芸能まつり優待割引

3. 寄附者の顕彰及び会員状況

特別寄附金高額寄附者に対して文化観光資源保護協力者として、感謝状贈呈要綱にもとづき2月27日に贈呈式を実施し、理事長名にて感謝状を贈呈した。

また、現会員の維持及び新たな会員の一層の拡充につとめるため新たに活動紹介パンフレットを作成し、会員及び普及啓発事業で呼びかけを行った。

○文化観光資源保護協力者感謝状贈呈者（敬称略） 1名

伊勢 初枝 基本財産寄附金

○会員状況（平成24年3月31日現在）

会員区分	法人	個人
特別会員	169	166
普通会員	6	386
賛助会員	12	346
計	187	898

V. 法人運営

1. 募金活動

(1) 寄附金税制改正の取り組み

寄附金の受納にあたり、京都府・市に税額控除認定の申請を行い、指定を受けた。また、新たに創設された寄附金の税額控除制度について検討を進めた。

(2) 「特定寄附信託」による寄附受納

本年度の税制改正により新たに社会貢献の取り組みとして寄附税制優遇措置が設けられた「特定寄附信託」について、りそなグループの「りそな銀行」からの申し出により包括契約を締結し、今後委託者（個人）から申し出があった場合に寄附金を受納することとした。

(3) 募金状況

・一般寄附金	447件	3,942,000円
・特別寄附金	80件	1,773,400円
内訳 基本財産寄附金	3件	1,120,000円
文化観光資源保護事業	40件	387,000円
文化観光資源管理事業	3件	20,000円
普及啓発事業	1件	5,000円
公益目的事業共通	33件	241,400円

・京都市文化観光資源保護基金寄附金

56件 903,400円

京都市文化観光資源保護基金残高 23年度末見込額

2,875,012,000円

2. 会議開催状況

(1) 理事会

第1回臨時理事会 平成23年5月2日（決議の省略）

議案 評議員会招集

出席等 提案書に対し、理事14名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第2回通常理事会 平成23年6月6日

議案 顧問並びに常務理事の選任、平成22年度事業報告並びに収支決算、諸規則・規程の制定及び改定の承認、基本財産寄附金の公益目的保有財産への組み入れの承認、平成23年度常勤理事の役員報酬

報告事項 職務執行の状況

出席等 理事12名、監事1名

第3回臨時理事会 平成23年10月1日（決議の省略）

議案 顧問選任、専門委員選任

出席等 提案書に対し、理事16名全員の書面による同意の意思表示、監事2名から書面により異議がないことの意味表示があり、理事会の決議があったものとみなされた。

第4回通常理事会 平成24年2月27日

議案 平成23年度文化観光資源の所有者、管理者等に対する助成金の交付、事務所の移転、基本財産寄附金の公益目的保有財産への組み入れの承認、平成24年度事業計画並びに収支予算(案)、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認

報告事項 職務執行の状況

出席等 理事12名、監事1名

(2) 評議員会

第1回臨時評議員会 平成23年5月2日（決議の省略）

議案 評議員並びに理事選任

出席等 提案書に対し、評議員24名全員の書面による同意の意思表示

があり、評議員会の決議があったものとみなされた。

第2回定時評議員会 平成23年6月20日

議案 評議員会運営規則の制定，評議員並びに理事の選任，平成22年度事業報告並びに収支決算の承認，「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」改定の承認，平成23年度常勤理事の役員報酬

報告事項 第2回理事会の決議内容，職務執行の状況

出席等 評議員17名，理事長，専務理事，理事1名，監事1名

(3) 監査会 5月11日

議案 平成22年度 業務及び会計一件

出席 監事2名及び専務理事，理事1名ほか

3. 役員の異動

(1) 第1回臨時評議員会の承認による(5月2日付)

就任 評議員 西野 敏哉 (住友信託銀行株式会社執行役員京都支店長)

理事 平竹 耕三 (京都市文化市民局文化芸術担当局長)

退任 評議員 今井 孝至

理事 山岸 吉和

(2) 第2回通常理事会の承認による(6月6日付)

就任 顧問 小林 正明 (京都市会議長)

常務理事 平竹 耕三 (京都市文化市民局文化芸術担当局長)

退任 顧問 加藤 盛司

(3) 第2回定時評議員会の承認による(6月20日付)

就任 評議員 北原 茂樹 (京都府旅館ホテル生活衛生同業組合理事長)

〃 小林 靖治 (三菱UFJ信託銀行株式会社執行役員京都支店長)

理事 小林 昭朗 (京都市会くらし環境委員長)

〃 西田 厚聰 (社団法人日本観光振興協会会長)

退任 評議員 山本 忠彦 (死去)

〃 竹内 伸行

理事 鈴木 正穂

〃 中村 徹

(4) 第3回臨時理事会の承認による(10月1日付)

就任 顧問 井上与一郎 (京都市会議長)

退任 顧問 小林 正明

4. 文化財専門委員の選任

第3回臨時理事会 平成23年10月1日（決議の省略）

氏名	職名	専門分野	備考
尼崎 博正	京都造形芸術大学教授	庭園史	再任
小椋 純一	京都精華大学教授	植生学	再任
川上 貢	京都大学名誉教授	建築史	再任
武田 恒夫	大阪大学名誉教授	美術史	再任
西川 幸治	京都大学名誉教授	都市史	再任
森谷 尅久	武庫川女子大学名誉教授	日本史	再任

任期 平成23年10月1日～平成25年9月30日 2年間

5. 登記事項

評議員並びに理事の変更登記

評議員 山本 忠彦（死亡）、今井 孝至、理事 中村 徹、山岸 吉和
 （辞任登記） 23.5.16 付

評議員 西野 敏哉、理事 平竹 耕三（就任登記） 23.5.16 付

評議員 竹内 伸行、理事 鈴木 正穂（辞任登記） 23.6.29 付

評議員 北原 茂樹、小林 靖治、理事 小林 昭朗、西田 厚聰（就任登記）
 23.6.29 付

評議員 小保内勇人（辞任登記） 23.12.27 付

主たる事務所移転登記 24.3.21 付

6. 届出事項

移行登記完了の届出 23.4.15 付

評議員並びに理事変更の届出 23.5.20 付

平成22年度事業年度終了に伴う報告の届出 23.6.28 付

評議員並びに理事変更の届出 23.7.4 付

評議員変更の届出 24.1.6 付

平成24年度事業計画並びに収支予算、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の届出 24.3.5 付

主たる事務所所在地変更の届出 24.3.23 付